

平成20年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成20年 1 月29日

上 場 会 社 名 株式会社日清製粉グループ本社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 2002 URL <http://www.nisshin.com>
 代 表 者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 村上 一平
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 広報部長 (氏名) 稲垣 泉 TEL (03)5282-6650

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成19年 4 月 1 日 ～ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %
20年 3 月期第 3 四半期	322,573	1.9	13,741	△3.1	16,799	△0.5	9,918 16.2
19年 3 月期第 3 四半期	316,632	△0.4	14,181	△11.9	16,884	△7.4	8,532 △13.7
19年 3 月期	418,190	—	19,184	—	22,815	—	12,303 —

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20年 3 月期第 3 四半期	39	26	39	25
19年 3 月期第 3 四半期	33	75	33	73
19年 3 月期	48	66	48	63

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年 3 月期第 3 四半期	394,661	295,447	67.2	1,067 56
19年 3 月期第 3 四半期	405,125	295,565	65.9	1,056 78
19年 3 月期	408,437	300,306	66.3	1,069 71

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年 3 月期第 3 四半期	17,735	△14,462	△14,367	37,474
19年 3 月期第 3 四半期	15,931	△6,640	△5,914	46,370
19年 3 月期	17,469	△6,961	△5,225	48,452

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日 ～ 平成20年3月31日） 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	428,000	2.3	18,500	△3.6	22,100	△3.1	12,000	△2.5	47	69

平成19年11月9日に発表の業績予想と変更ありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については4ページをご覧ください。
2. 平成19年11月9日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式5百万株を取得いたしました。連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当該自己株式取得の影響を考慮しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

[当第 3 四半期の概況]

当第 3 四半期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日まで）につきましては、引続き販売競争が激化し、原材料価格が高騰する中、各事業において新製品投入などにより売上を拡大するとともに、更なるコスト削減や生産性向上に取り組んでまいりました。しかしながら輸入小麦の政府売渡価格の引き上げや、原油価格、穀物相場の急騰などによる調達コストの大幅な上昇は内部努力で吸収できるレベルを超えているため、価格改定を実施いたしました。

この結果、売上高は 3,225 億 73 百万円、前年同期比 1.9% の増収となりましたが、利益面では価格改定時期の関係からコストアップの全てをカバーできず、また更なるコストアップも発生したため、営業利益は 137 億 41 百万円、前年同期比△3.1%、経常利益は 167 億 99 百万円、前年同期比△0.5% の減益となりました。なお、四半期純利益は特別利益の増加により 99 億 18 百万円、前年同期比 16.2% の増益となりました。

[セグメント別営業概況]

①製粉事業

製粉事業につきましては、昨年 4 月より輸入小麦の政府売渡価格変動制度が導入され、輸入小麦の政府売渡価格が昨年 4 月に平均 1.3%、10 月には平均 10% 引き上げられたことに伴い、業務用小麦粉の価格改定を実施いたしました。

営業面では、低価格製品への需要シフトが継続する厳しい環境となる中、リレーションシップ・マーケティングを積極的に推進し、お客様との関係強化に努めるなど拡販に取り組んだ結果、小麦粉の出荷は前年を上回りました。

生産・物流面では、本年の稼働に向けた東灘工場新ライン増設工事を進めるなど生産性向上に取り組むとともに、安心・安全対策の強化を推進してまいりました。

副製品であるふすまにつきましては、穀物相場の高騰等を背景に価格は堅調に推移しました。

海外事業につきましては、引続き積極的な営業施策を展開することにより、売上げは前年を上回りました。

②食品事業

加工食品事業につきましては、原材料等の価格が上昇したため昨年 9 月にはディ・チェコ及びパスタソースの価格改定を行い、昨年 11 月には業務用小麦粉価格の改定に伴い、家庭用小麦粉及び小麦粉二次加工品、パスタ等の価格改定を行いましたが、コストは更に上昇しており再度の価格改定が必要な状況となっております。国内の販売においては、「マ・マー晩パスタ」プロモーションを積極的に展開するなど拡販に努め、売上げは前年を上回りました。海外事業においては、中国やタイなどで新しい需要開拓を図り売上げ拡大に向けた取組みを行った結果、プレミックスの売上げは前年を上回りました。

酵母・バイオ事業につきましては、原材料価格等の高騰を受け、一部製品の価格改定を実施いたしました。酵母事業では、イースト関連やフラワーペーストなどの売上げが前年を上回りましたが、マヨネーズ・惣菜の売上げは前年を下回りました。またバイオ事業では、生化学・免疫製品、バイオニュートリショナル製品、養魚用飼料などの売上げが前年を上回りましたが、実験動物用飼料、研究支援事業等の売上げは前年を下回りました。その結果、全体の売上げは前年並みとなりました。

健康食品事業につきましては、コエンザイム Q10 においてブームの沈静化や他社の増産等による需給バランスの変化により、厳しい販売環境が継続し、売上げは前年を下回りました。

③その他事業

ペットフード事業につきましては、原材料などの調達コストの上昇を受け、適正な収益確保に取り組むとともに、積極的な新製品上市などの拡販施策を推進した結果、犬用及び猫用ペットフードの売上は前年を上回りました。

エンジニアリング事業につきましては、プラントエンジニアリングの完工時期が前年と比べて第 4 四半期（1 月から 3 月まで）に集中しているため、売上は前年を下回りました。

メッシュクロス事業につきましては、主力のスクリーン印刷用メッシュクロスの売上は前年並みとなったものの、産業資材用メッシュクロス及び自動車用フィルターを中心とした化成品が順調に売上を伸ばし、全体の売上は前年を上回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末における資産、負債、純資産の状況につきましては、流動資産は 1, 6 8 2 億円で主に現金及び預金の減少により、前年度末に比べ 1 0 3 億円減少しました。固定資産は 2, 2 6 4 億円で有形固定資産は増加しましたが、投資その他の資産が減少し、前年度末に比べ 3 3 億円減少しました。この結果、総資産は 3, 9 4 6 億円で前年度末に比べ 1 3 7 億円減少しました。また、流動負債は 6 3 7 億円で主に短期借入金の減少により、前年度末に比べ 3 5 億円減少しました。固定負債は 3 5 4 億円で繰延税金負債の減少などにより、前年度末に比べ 5 3 億円減少しました。この結果、負債は合計 9 9 2 億円で前年度末に比べ 8 9 億円減少しました。純資産は、利益剰余金が純利益と配当金支払いの差引きで増加しましたが、自己株式取得による減少及び評価・換算差額等の減少などがあり、前年度末に比べ 4 8 億円減少し、2, 9 5 4 億円となりました。

次にキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは 1 7 7 億円の資金増加となりました。この資金を戦略的な設備投資に 1 4 0 億円投入するとともに、借入金の返済に 3 8 億円充当いたしました。一方で、株主の皆様への一層の利益還元といたしまして 4 5 億円の配当を実施するとともに、自己株式の取得（単元未満株式の取得を含む）に 5 6 億円を支出いたしました。

この結果、当第 3 四半期末の現金及び現金同等物残高は前年度末比 1 0 9 億円減少し、3 7 4 億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第 4 四半期におきましても、引続き厳しい販売競争や更なるコストアップも見込まれます。当社グループは各事業において、シェアアップやコストダウンなどの各施策を推進するとともに、価格改定への取組みを継続いたしますが、通期業績につきましては 1 1 月公表のとおり、売上高は 4, 2 8 0 億円、前期比 2. 3 % の増収、利益面では、営業利益は 1 8 5 億円、前期比△ 3. 6 %、経常利益は 2 2 1 億円、前期比△ 3. 1 %、当期純利益は 1 2 0 億円、前期比△ 2. 5 % とそれぞれ減益となる見込です。

当期の業績は厳しい状況とはなっておりますが、東灘工場製粉新ラインの稼働、館林工場プレミックス新ラインの建設などコスト体質強化を図り、一層のコスト削減に努めるとともに、シェアアップの実現、次世代新製品の上市加速など、積極的に推進してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

固定資産の減価償却の方法については、影響が僅少なため、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期) (18. 12. 31)	前連結会計年度 (19. 3. 31)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期) (19. 12. 31)	比 較 (△ は 減)	
				前年同期比	前 年 度 比
(資 産 の 部)					
流 動 資 産	179,056	178,649	168,258	△10,798	△10,390
現 金 及 び 預 金	39,398	45,649	34,608	△4,790	△11,041
受取手形及び売掛金	63,781	60,093	66,880	3,099	6,787
有 価 証 券	24,614	15,913	16,321	△8,292	408
た な 卸 資 産	38,721	44,647	40,392	1,671	△4,255
そ の 他	12,783	12,560	10,274	△2,508	△2,286
貸 倒 引 当 金	△241	△214	△218	22	△4
固 定 資 産	226,068	229,788	226,402	334	△3,385
有 形 固 定 資 産	113,773	114,701	119,553	5,779	4,851
建物及び構築物	43,897	44,224	44,375	478	150
機械装置及び運搬具	33,447	33,596	33,301	△145	△294
土 地	30,786	30,851	33,350	2,564	2,498
そ の 他	5,643	6,028	8,525	2,882	2,497
無 形 固 定 資 産	6,850	6,527	5,039	△1,811	△1,488
投資その他の資産	105,444	108,559	101,810	△3,634	△6,749
投 資 有 価 証 券	99,804	103,612	95,923	△3,880	△7,688
そ の 他	5,917	5,234	6,135	217	901
貸 倒 引 当 金	△277	△287	△249	27	37
資 産 合 計	405,125	408,437	394,661	△10,463	△13,776

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期) (18.12.31)	前連結会計年度 (19.3.31)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期) (19.12.31)	比 較 (△は減)	
				前年同期比	前 年 度 比
(負 債 の 部)					
流 動 負 債	69,026	67,304	63,784	△5,242	△3,520
支払手形及び買掛金	30,258	28,439	28,274	△1,984	△164
短 期 借 入 金	7,607	7,491	3,878	△3,729	△3,612
未 払 費 用	11,913	12,910	11,191	△721	△1,718
そ の 他	19,246	18,463	20,440	1,193	1,976
固 定 負 債	40,532	40,827	35,429	△5,102	△5,397
長 期 借 入 金	1,440	1,330	1,259	△181	△71
繰 延 税 金 負 債	21,103	22,270	18,500	△2,603	△3,770
退職給付引当金	10,562	9,863	8,243	△2,319	△1,620
そ の 他	7,425	7,362	7,426	0	63
負 債 合 計	109,559	108,131	99,213	△10,345	△8,917
(純 資 産 の 部)					
株 主 資 本	227,273	231,436	231,275	4,001	△161
資 本 金	17,117	17,117	17,117	—	—
資 本 剰 余 金	9,475	9,779	9,779	304	0
利 益 剰 余 金	203,778	207,550	212,906	9,128	5,356
自 己 株 式	△3,098	△3,010	△8,529	△5,430	△5,518
評価・換算差額等	39,883	39,537	33,849	△6,034	△5,688
その他有価証券評価差額金	39,672	39,102	33,049	△6,622	△6,052
繰延ヘッジ損益	131	41	2	△129	△38
為替換算調整勘定	79	394	796	717	402
新株予約権	—	—	5	5	5
少数株主持分	28,408	29,331	30,317	1,908	985
純 資 産 合 計	295,565	300,306	295,447	△118	△4,858
負 債 純 資 産 合 計	405,125	408,437	394,661	△10,463	△13,776

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期) (18. 4. 1～18. 12. 31)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期) (19. 4. 1～19. 12. 31)	比 較 (△ は 減)	前連結会計年度 (18. 4. 1～19. 3. 31)
売 上 高	316,632	322,573	5,940	418,190
売 上 原 価	215,661	222,185	6,523	285,598
売 上 総 利 益	100,970	100,387	△583	132,591
販売費及び一般管理費	86,788	86,645	△143	113,407
営 業 利 益	14,181	13,741	△440	19,184
営 業 外 収 益	3,187	3,403	215	4,234
受 取 利 息	168	334	165	259
受 取 配 当 金	974	1,095	120	1,150
持分法による投資利益	1,096	1,205	108	1,574
そ の 他	947	768	△178	1,251
営 業 外 費 用	485	345	△140	603
支 払 利 息	129	125	△4	181
そ の 他	355	219	△136	422
経 常 利 益	16,884	16,799	△84	22,815
特 別 利 益	203	1,999	1,795	3,776
固定資産売却益	137	653	515	290
投資有価証券売却益	43	255	211	2,047
関係会社清算益	—	1,035	1,035	1,415
そ の 他	22	55	32	22
特 別 損 失	644	964	319	2,547
固定資産除却損	644	364	△280	910
コエンザイムQ10関連損失	—	565	565	1,533
そ の 他	—	34	34	103
税金等調整前四半期（当期）純利益	16,442	17,835	1,392	24,044
法人税、住民税及び事業税	6,362	6,464	101	7,875
法人税等調整額	—	—	—	1,494
少 数 株 主 利 益	1,548	1,453	△95	2,371
四半期（当期）純利益	8,532	9,918	1,385	12,303

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期（平成19年3月期第3四半期 平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	17,117	9,483	200,487	△3,176	223,912
四半期中の変動額					
剰余金の配当(注)			△2,785		△2,785
剰余金の配当(中間配当)			△2,279		△2,279
役員賞与(注)			△175		△175
四半期純利益			8,532		8,532
自己株式の取得				△69	△69
自己株式の処分		△8		147	139
株主資本以外の項目の四半期中の変動額（純額）					
四半期中の変動額合計	—	△8	3,291	77	3,361
平成18年12月31日残高	17,117	9,475	203,778	△3,098	227,273

	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	40,835	—	△212	40,622	27,498	292,033
四半期中の変動額						
剰余金の配当(注)						△2,785
剰余金の配当(中間配当)						△2,279
役員賞与(注)						△175
四半期純利益						8,532
自己株式の取得						△69
自己株式の処分						139
株主資本以外の項目の四半期中の変動額（純額）	△1,163	131	292	△739	910	170
四半期中の変動額合計	△1,163	131	292	△739	910	3,532
平成18年12月31日残高	39,672	131	79	39,883	28,408	295,565

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当四半期（平成20年3月期第3四半期 平成19年4月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	17,117	9,779	207,550	△3,010	231,436
四半期中の変動額					
剰余金の配当			△2,280		△2,280
剰余金の配当（中間配当）			△2,280		△2,280
四半期純利益			9,918		9,918
自己株式の取得				△5,616	△5,616
自己株式の処分		0		98	98
株主資本以外の項目の四半期中の変動額（純額）					
四半期中の変動額合計	—	0	5,356	△5,518	△161
平成19年12月31日残高	17,117	9,779	212,906	△8,529	231,275

	評価・換算差額等				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	39,102	41	394	39,537	—	29,331	300,306
四半期中の変動額							
剰余金の配当							△2,280
剰余金の配当（中間配当）							△2,280
四半期純利益							9,918
自己株式の取得							△5,616
自己株式の処分							98
株主資本以外の項目の四半期中の変動額（純額）	△6,052	△38	402	△5,688	5	985	△4,697
四半期中の変動額合計	△6,052	△38	402	△5,688	5	985	△4,858
平成19年12月31日残高	33,049	2	796	33,849	5	30,317	295,447

前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	17,117	9,483	200,487	△3,176	223,912
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注)			△2,785		△2,785
剰余金の配当(中間配当)			△2,279		△2,279
役員賞与(注)			△175		△175
当期純利益			12,303		12,303
自己株式の取得				△86	△86
自己株式の処分		296		251	547
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	—	296	7,062	165	7,524
平成19年3月31日残高	17,117	9,779	207,550	△3,010	231,436

	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	40,835	—	△212	40,622	27,498	292,033
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当(注)						△2,785
剰余金の配当(中間配当)						△2,279
役員賞与(注)						△175
当期純利益						12,303
自己株式の取得						△86
自己株式の処分						547
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△1,732	41	606	△1,084	1,833	748
連結会計年度中の変動額合計	△1,732	41	606	△1,084	1,833	8,272
平成19年3月31日残高	39,102	41	394	39,537	29,331	300,306

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期) (18. 4. 1～18. 12. 31)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期) (19. 4. 1～19. 12. 31)	前連結会計年度 (18. 4. 1～19. 3. 31)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	16,442	17,835	24,044
減 価 償 却 費	9,289	10,030	12,565
利息戻及び受取配当金	△1,013	△1,303	△1,227
持分法による投資利益	△1,096	△1,205	△1,574
売上債権の増減額（増加：△）	△6,009	△6,710	△2,256
たな卸資産の増減額（増加：△）	1,010	4,300	△4,782
仕入債務の増減額（減少：△）	4,262	△293	2,490
未成工事受入金の増減額（減少：△）	1,132	700	172
そ の 他	△619	△818	△4,821
小 計	23,398	22,535	24,612
利息及び配当金の受取額	1,753	1,949	2,753
利 息 の 支 払 額	△115	△119	△173
法人税等の支払額	△9,104	△6,629	△9,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,931	17,735	17,469
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入れ・払戻し（預入れ：△）	7,301	77	7,152
有価証券の取得・売却（取得：△）	△3,333	△455	1,358
有無形固定資産の取得による支出	△11,238	△14,020	△14,096
投資有価証券の取得・売却（取得：△）	331	△1,748	△3,822
そ の 他	299	1,684	2,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,640	△14,462	△6,961
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額（減少：△）	△330	△3,807	△545
自己株式の取得による支出	△66	△5,616	△86
配当金の支払額	△5,065	△4,561	△5,065
そ の 他	△451	△382	472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,914	△14,367	△5,225
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	190	116	366
V 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	3,567	△10,977	5,648
VI 現金及び現金同等物の期首残高	42,803	48,452	42,803
VII 現金及び現金同等物の期末残高	46,370	37,474	48,452

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期（平成19年3月期第3四半期 平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	製 粉	食 品	そ の 他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	116,335	168,746	31,549	316,632	—	316,632
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,002	629	3,059	16,691	(16,691)	—
計	129,338	169,376	34,609	333,323	(16,691)	316,632
営 業 費 用	121,923	165,295	31,413	318,632	(16,182)	302,450
営 業 利 益	7,414	4,080	3,196	14,691	(509)	14,181

当四半期（平成20年3月期第3四半期 平成19年4月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	製 粉	食 品	そ の 他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	121,873	170,805	29,894	322,573	—	322,573
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,862	605	2,687	17,155	(17,155)	—
計	135,736	171,411	32,581	339,728	(17,155)	322,573
営 業 費 用	128,262	167,496	29,710	325,469	(16,638)	308,831
営 業 利 益	7,474	3,914	2,870	14,259	(517)	13,741

前連結会計年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	製 粉	食 品	そ の 他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	154,722	220,545	42,922	418,190	—	418,190
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17,253	795	4,278	22,327	(22,327)	—
計	171,976	221,340	47,200	440,517	(22,327)	418,190
営 業 費 用	162,236	216,062	42,485	420,784	(21,778)	399,006
営 業 利 益	9,740	5,278	4,714	19,732	(548)	19,184

(注) 1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

製 粉…小麦粉、ふすま

食 品…プレミックス、家庭用小麦粉、パスタ、パスタソース、冷凍食品、チルド食品、

製菓・製パン用資材、生化学製品、ライフサイエンス事業、健康食品

その他…ペットフード、設備工事、メッシュクロス、荷役・保管